

「学校教育学会誌」応募規定

1. 「学校教育学会誌」刊行の目的

本機関誌は学校教育学における理論、方法論、および実践論の発展、普及のために、会員の独創的な研究成果の発表、および会員の意見発表、情報交換の場を提供することを目的として刊行する。

2. 機関誌原稿の種類

- (1) 学校教育学に関する研究、開発、検討の結果をまとめたものであり、新規性、信頼性、有用性があり、学術・教育の発展に役立ちうるものとする。
- (2) 教育実践に関する研究で、その仕組みや条件が明確に記述され、汎用性の高い知見や方法が客観的な形式で導出されているものとする。
- (3) 研究、開発、検討などの部分的結果やデータをまとめたもので、研究、開発などの上に有用性があり、資料として参考になるものとする。
- (4) ある主題について、これまでに発表された論文等を整理、総括し、将来の見通しなどを、一般の会員にもわかりやすく述べたもの。また新しい技術について周辺の技術動向を加味して明瞭に解説されているものとする。
- (5) その他、会員に有用な関連記事

3. 論文に関する条件

- (1) 内容の主要な部分が、国内、国外の学会誌、機関誌、商業誌等に掲載または掲載予定になっていないこと。ただし、研究会、学会大会等の学術講演等における口頭発表をまとめて投稿することは差し支えない。
- (2) 内容の一部が既発表ではあるが、それを深く解析または実験し、その内容にオリジナリティあるいは主張すべき点が認められるものとする。
- (3) 先行研究の引用などの著作権や人権やプライバシーの保護などの理的な配慮が十分に行なわれていなければならない。

4. 投稿について

- (1) 投稿資格次の者が筆頭著者として投稿できる。
 - ① 北海道教育大学函館学校教育学会の会員
 - ② 編集委員会が投稿を依頼した者、あるいは認めた者
- (2) 投稿数は、筆頭著者として1編までとする。

5. 原稿のページ数制限等

図表、資料等を含め、刷り上がり 10 ページ以内の偶数ページとし、カラー印刷は執筆者負担と

する。ただし、内容及び全体の投稿数等により編集委員会が必要と認めたものは、若干の増ページを認めることがある。

6. 原稿の作り方と投稿方法

- (1) 論文原稿は、学会が指定した Word のテンプレートを使用して作成する。
- (2) 論文原稿は、本学会の「執筆の手引き」に従って作成する。
- (3) 論文原稿は、Word ファイルと PDF ファイルの両方を提出する。
- (4) 論文原稿に掲載されている図表等のオリジナルのデータも合わせて提出する。
- (5) 論文原稿は、学会ウェブサイトに掲載の投稿フォーム、または事務局宛てに電子メールで送付する。データの容量が大きい場合は、フラッシュメモリ等に保存して事務局に送付する。

7. 投稿原稿の掲載

投稿原稿は、編集委員会の協議を経て掲載される。協議の結果、著者に一部書き直しや体裁の修正等を依頼することがある。

8. 校正

- ① 著者校正は、初校まで行う。このとき、印刷上の誤り以外の訂正、挿入、削除は行わない。
- ② 著者からの指摘がなくても、明らかな間違いや誤植があった場合は、編集委員会の判断で修正を行う。

9. 北海道教育大学学術リポジトリでの公開

本誌に掲載された論文は、北海道教育大学学術リポジトリで公開されることを原則とする。

10. 応募申込・締切

- 5月1日 原稿募集
- 6月1日 投稿申し込みの締切
- 6月30日 原稿提出の締切